

平成29事業年度

決算報告書

第8期事業年度

自平成29年4月1日
至平成30年3月31日

公立大学法人 広島市立大学

平成29年度決算報告書

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,180	3,180	—	
授業料、入学料及び入学検定料収入	1,250	1,241	△ 9	(注1)
受託研究収入	55	86	31	(注2)
補助金収入	50	61	11	(注2)
寄附金収入	30	11	△ 19	(注2)
雑収入	162	160	△ 2	
目的積立金取崩	665	578	△ 87	(注3)
計	5,394	5,319	△ 75	
支出				
教育研究経費	1,239	1,175	△ 64	(注4)
人件費	2,804	2,672	△ 132	(注5)
一般管理費	607	557	△ 50	(注6)
受託研究経費	55	71	16	(注2)
補助金事業費	50	60	10	(注2)
寄附金事業費	30	5	△ 25	(注2)
施設整備費	607	578	△ 29	(注7)
計	5,394	5,122	△ 272	

○ 予算と決算の差異について

(注1) 大学院入学者数の減等

(注2) 外部資金については、受入れ実績等に基づき予算額を計上しましたが、受託研究費及び補助金については受託金額及び補助金額が見込みより増加したため決算額が増となり、寄附金については寄附金額が見込みより減少したため決算額が減となっています。

(注3) 効率的な執行等により生じた財源を事業費に充当したことなどにより減となっています。

(注4) 教員研究費の計画的執行等による執行残

(注5) 教員の計画的採用等による執行残

(注6) 光熱水費の執行額が見込みを下回ったことによる執行残

(注7) 国際学生寮の備品購入方法の見直し等による執行残

○ 損益計算書の計上金額と決算額の差異について

(収益と収入決算額の差異)

(1) 決算報告書では、損益計算書に収益として計上されていない固定資産取得に充てられた収入等が収入として計上されています。

(2) 損益計算書では、決算報告書に収入として計上されていない資産見返負債戻入や授業料等のうち減免等により収入がなかった金額が収益として計上されています。

(費用と支出決算額の差異)

(1) 決算報告書では、損益計算書に費用として計上されていない固定資産取得額等が支出として計上されています。

(2) 損益計算書では、決算報告書に支出として計上されていない減価償却費や授業料等の減免額等が費用として計上されています。

○ 損益計算書の計上金額と決算額の集計区分の差異について

一般管理費の一部について、損益計算書上では教育経費、研究経費及び教育研究支援経費として計上しているものがあります。